



痛くなくてごめんなさい 硬膜外麻酔併用帝王切開で出産

1人目の時は、逆子で帝王切開をすることになりました。当時は「硬膜外麻酔」は行われておらず、術後3日間は激痛との闘いでした。

今回2人目も予定帝王切開と決まり、早く赤ちゃんに会いたい反面、またあの痛みを味わうのか・・・と覚悟して入院しました。

麻酔科の先生から「硬膜外麻酔」の説明を受けても、正直半信半疑でした。実際、手術後にはそれなりの痛みはありましたが、1人目の時のあの激痛は全くなく、逆に「あの痛みを味わうことしなくてすいません」と申し訳ないくらいでした。翌日からは、ベッドの上で起き上がって容易に体を動かせることにもすごくびっくりでした。そして何より、赤ちゃんのお世話が早くからできて嬉しかったです。

前回一緒に泊まっていた夫が回復の早さに「全然違うよね！前の時は死んでたもんね」と、一番驚いていました。

できれば自然に産めることが一番の理想でしたが、何よりこうして無事に赤ちゃんが生まれてきてくれたことを嬉しく思います。また、入院生活が長い分、助産師さん



松田直香さんと
赤ちゃん、
お姉ちゃん

ちにおっぱいの事や赤ちゃんの事、心配な事などを色々相談できたのも有難かったです。もしも3人目を奇跡的に授かることができれば、また「硬膜外麻酔」をお願いしたいと思っています。私にとっては魔法みたいな麻酔のおかげで、満足なお産を経験することができました。麻酔科、産科の先生方、助産師さんありがとうございました。

初めまして。助産師の帆苺 智子(ほかり ともこ)と言います。7月から済生会第二病院A4病棟で働かせていただいています。

私の出身は秋葉区(旧・新津市)です。毎日車で通っています。しかし運転が下手なので、未だに事故予防として初心者マークを貼って運転しています。毎日事故らないかひやひやしながら運転しています。趣味は映画鑑賞です。映画館に行って快適な空間で映画を見るのが大好きです。

私が助産師を目指したきっかけは、大学の母性看護学での実習です。実習の中でお産を見ることができました。陣痛に耐えるお母さんのたくましい姿と、お産を終えたお母さんの笑顔がとっても素敵で、魅力的でした。新しい命の誕生の場に立ち会えて感動

しました。陣痛中や分娩中にお母さんを励ましながらかき添い、お産の手助けをする助産師の姿を見て、私もなりたと思いました。

まだまだたくさん分からないことだらけですが、日々先輩スタッフの方たちからご指導いただき勉強し、少しでも先輩達に追いつけるよう、また入院された方々に良い医療を行えるよう頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



分娩室ユニフォームに身を包んだ
新人助産師2名

帆苺智子

坪野冬実子

7月からの新スタッフ紹介

この7月から、当院産婦人科に新しい3名のスタッフが加わりました。島 英里医師は、毎週水曜・金曜の産科外来を担当し、すでに妊婦健診の中心となっています。帆苺智子、坪野冬美子の両助産師が着ている紺の術衣は、分娩室・新生児室でアクティブに動くための新ユニフォームです。

7月1日から済生会第二病院に移動してきました、島 英里(しま えいり)と言います。新潟県立中央病院、大学病院 NICU、新潟市民病院勤務を経て、その後、出産・育児で半年間お休みをしていましたが、復帰に際しこちらの病院で働かせて頂くことになりました。久しぶりの現場で、また新しい職場で、まだまだ慣れるのに精いっぱいといった感じですが、自分の妊娠出産の経験も活かしつつ、日々皆様のお力になれるように尽力していきたいと思っています。外来は水曜日と金曜日の産科を担当しています。

私事ですが、頻繁に「えり」と間違えられます。いちいち訂正するのが面倒なのでそのまま返事していますが、間違えないで頂けると嬉しいです。スリーサイズは極秘ですが、身長は147cmです(でありながら、2900gの子を6時間で産む)。

声と態度のかさで存在をアピールしていますが、身長の高い方はときどき本当に視界に入らない事があるみたいなので、産婦人科外来、病棟を移動する際は注意してくださいませよう、お願いいたします。



島 英里

初めまして。助産師の坪野 冬実子(つぼの ふみこ)です。名前に冬が入っていますが誕生日は8月です。3ヶ月のICU研修を終え、7月からA4病棟に勤務しています。助産師として働き始めて2週間。慣れないことばかりで、おどおどしながら先輩に聞きまくっていますが、優しく指導を受け充実した毎日です。

大学では、児童虐待防止への助産師の支援について研究しました。望まない妊娠や児童虐待によって命を落とす子供たちが増えている現状に、とても心を痛め、継続した育児支援の必要性を実感しました。将来は、性教育などを行って命の大切さを子供たちに伝えられるような助産師になりたいと思います。

出身は石川県です。新潟に住んで5年目になりますが、いまだに新潟弁が分からなかったりよくカルチャーショックをうけています。今年からは住民票も新潟に移し、真の新潟県民になったので、もっともっと新潟のことを知っていきたく思います。ラーメンとお酒とファーストフードが大好きです。

帆苺さんと一緒に、先輩方に早く追いつけるよう一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。